

## 「ブラジル国債」投資環境に改善の兆し

2013年のブラジル・リアルは5月以降、下落基調を強めた【図表1】。主な下落要因は、①(米量的緩和縮小による)資金流出懸念、②『景気減速』と『インフレ圧力』、③商品市況の下落、であった。足下では、それらの要因に改善の兆しが見られている。

### ■ 要因①：資金流出懸念の後退

- 米量的緩和縮小の開始を前にして、昨年10-12月期にはリスク回避の動きから資金の流出超が見られた【図表2】。今年1月には再度流入超となっており、回復の兆しが見られた。2月22日、ブラジル中銀トピニ総裁が『2月の海外からの資金流入は回復を強めている』と語った。

### ■ 要因②：『景気減速』と『インフレ圧力』に改善の兆し

- 2月27日発表の2013年10-12月期のGDP成長率は前期比+0.7%とプラスに転じた【図表3】。市場予想の+0.3%を大きく上回り、景気回復の兆しが見られた。
- 2月26日、ブラジル中央銀行は政策金利を0.25%引き上げた。昨年4月から8会合連続の利上げで、インフレは低下傾向を示している【図表3】。

### ■ 要因③：商品市況に底入れ感

- 2013年の商品市況は下落基調を続けた【図表4】。今年1月からは先進国経済の回復が世界経済の成長を牽引するとの期待から、商品市況は底入れの兆しを示している。

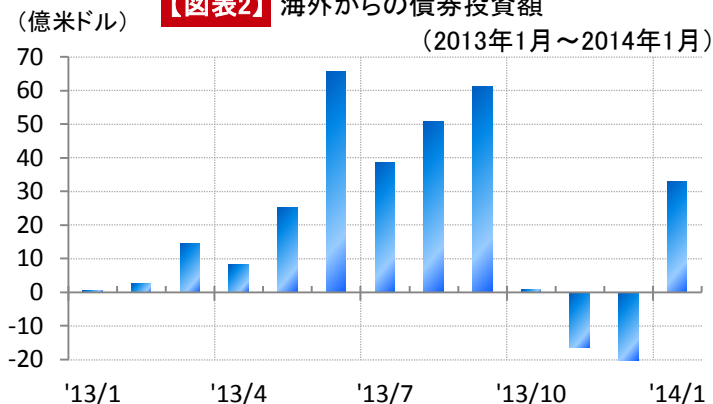
### ■ その他の改善の兆し

- 2月26日の利上げ幅が前回までの0.5%から0.25%に縮小したことで、利上げサイクルの終了が近いとの観測が高まった。利上げサイクルの終了は債券利回りを安定させ、投資環境を改善させる。
- 2月20日に発表された440億リアルの歳出削減は財政の健全化として、市場からの評価を得た。これらの投資環境の改善に伴い、ブラジル国債の高利回りの魅力が再評価される展開が期待される。

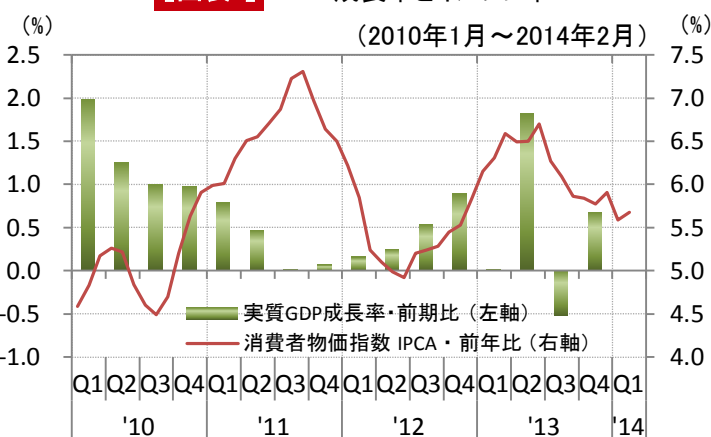
【図表1】 ブラジル・リアル為替相場 (対米ドル、対円)  
(2013年1月2日～2014年3月12日：日次)



【図表2】 海外からの債券投資額  
(2013年1月～2014年1月)

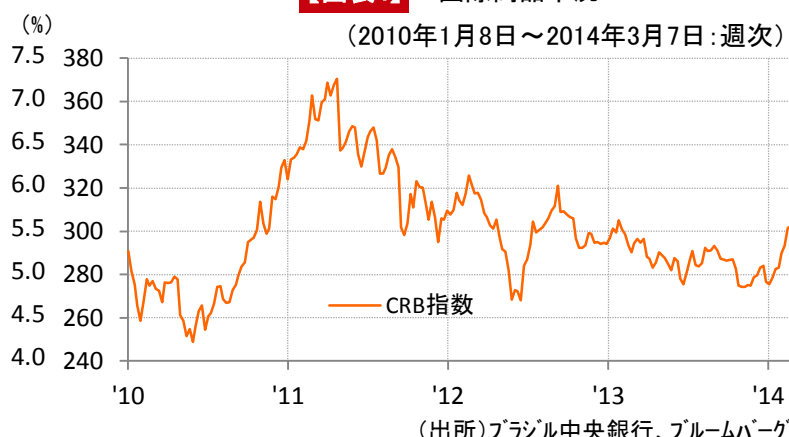


【図表3】 GDP成長率とインフレ率  
(2010年1月～2014年2月)



※ GDP成長率は四半期ベース、2013年第4四半期まで。

【図表4】 国際商品市況  
(2010年1月8日～2014年3月7日：週次)



(出所)ブラジル中央銀行、ブルームバーグ

# 投資信託の留意点

以下の記載は、金融商品取引法第37条により表示が義務付けられている事項です。お客さまが実際にご購入される個々のファンドに適用される費用やリスクとは内容が異なる場合がありますのでご注意ください。ファンドにかかる費用の項目や料率等は販売会社や個々のファンドによって異なるため、費用の料率は大和投資信託が運用する一般的なファンドのうち、徴収するそれぞれの費用における最高料率を表示しております。また、特定ファンドの取得をご希望の場合には、当該ファンドの「投資信託説明書（交付目論見書）」をあらかじめ、または同時にお渡しいたしますので必ずご覧いただき、投資に関する最終決定はお客さまご自身の判断でなさるようお願いいたします。

## お客さまにご負担いただく費用

ファンドのご購入時や運用期間中には以下の費用がかかります。

### 直接的にご負担いただく費用

購入時手数料	料率の上限は、 <b>3.15%*</b> （税込）です。 ※ 消費税率が8%となる平成26年4月1日以降は、 <b>3.24%</b> となります。
換金手数料	料率の上限は、 <b>1.26%*</b> （税込）です。 ※ 消費税率が8%となる平成26年4月1日以降は、 <b>1.296%</b> となります。
信託財産留保額	料率の上限は、 <b>0.5%</b> です。

### 保有期間中に間接的にご負担いただく費用

運用管理費用（信託報酬）	費用の料率の上限は、 <b>年率2.121%*</b> （税込）です。 ※ 消費税率が8%となる平成26年4月1日以降は、 <b>年率2.1816%</b> となります。
その他の費用・手数料	監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、資産を外国で保管する場合の費用等を信託財産でご負担いただきます。（その他の費用・手数料については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。）

※ 手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※ ファンドにより異なりますので、詳しくは販売会社にお問い合わせください。

※ 詳細につきましては、「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

## ファンドのリスクについて

ファンドは値動きのある有価証券等（外貨建資産には為替リスクもあります）に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失はすべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。また、新興国には先進国とは異なる新興国市場のリスクなどがあります。リスクの要因については、ファンドが投資する有価証券等により異なりますので、お申し込みにあたっては、ファンドの「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

## 大和投資信託

Daiwa Asset Management

〈委託会社〉

商号等 大和証券投資信託委託株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第352号  
加入協会 一般社団法人投資信託協会  
一般社団法人日本投資顧問業協会

### 当資料のお取扱いにおけるご注意

◆ 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和証券投資信託委託株式会社が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申し込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容を必ずご確認くださいのうえ、ご自身でご判断ください。

◆ 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。